



# 日経ビジネス 2017年12月11日号 掲載記事 異色起業家だけに聞いた 2018年破天荒予測

## “超高学歴大工集団”のドン

平成建設社長

## 02 秋元 久雄 (69歳)

### AI導入でバカと貧乏人が増える

東大、京大出身は当たり前。超高学歴ぞろいの大工集団、平成建設を率いる秋元社長。1989年の創業後、建設業界の将来の職人不足を予見。当時としては異例の工程内製化を進め職人の待遇を向上、優秀な人材を集めてきた。建設業界で今も最も注目されるトップは2018年、日本経済の劣化を心配する。

来たね、今年も日経ビジネス。例の予測だろ？

まずさ、日本人は今、よほど危機感を持って頑張らないと、2018年以降、経済の国際競争力が取り返しがつかないところまで落ちていくと思う。そうなる「3つの元凶」があるんだな。



## 秋元氏の予想

1. 「働き方改革」は迷走する

2. 名門企業は「迷門」化する

3. AI導入で日本人の劣化が進む

4. 俺がスマホを極める

1つ目の元凶は、例の「働き方改革」だよ。ほとんどの企業は、今までと同じような仕事をしていて、労働時間だけ減らしているわけだろ。途上国が追い上げてきて、これから日本は世界とバンバン張り合っていくかな

きやならないのに、そんなんでは勝てるわけがないよな。

そういうこと言うと、「平成建設はブラック」とかネットにすぐ書かれるんだ。でも、俺が言いたいのは、働き方改革より前にやるべきなのは「楽しみ方改革」だってこと。

つまり、社員が仕事の楽しさを感じられるような環境整備を経営者はしろよ、ということなのよ。若い連中にどんどんチャンスを与えて、失敗も成功もたくさん経験させる。そこで何かかんたんに初めて、本当の仕事の楽しさが分かる。

新しく付加価値の高い商品やサービスというのは、そういう楽しさを知っている社員が生み出すもんだ。強い商品があれば、むやみに長時間働かなくても、企業競争力は保てるだろ。本当に時短をしたかったら、まず「楽しみ方改革」を頑張らないと。

失われた20年だか30年だかの間に、日本の企業はそういう「ワクワクする仕事の仕方」を忘れちゃったんだろうね。知らんけど。

### 大企業は「迷門」化する

2つ目の元凶は、世の中が激変しているのに、まだ「過去の栄光」にしがみついている企業が多いってこと。今や落ち目の東芝や神戸製鋼所も、これまで「名門」と呼ばれてきたけど、それは、

「昔の人」が頑張ったおかげ。社会が変わったら人も企業も新しい挑戦をしないといけないのに、名門企業は過去の実績にとらわれてそれができない。このままだと、日本の名門企業の多くは軒並み「迷門」化していくだろうな。

俺もなかなかうまいこと言うだろ(笑)。日経ビジネスが来たら、言おうと思ってたんだよ。

最後、日本が18年、劣化していくと俺が考える3つ目の元凶は、企業の「AI導入」だよ。

確かに便利なのは分かるよ。けど、確実に「バカ」が増えていく。頭をひねって考える機会が減って、AIの言いなりになって働く人間ばかりになる。

AIを売る業者や、企業の経営者や株主とか、一部の小利口な連中はもうかるかもしれない。けど、その他大勢はバカになるだけじゃ済まなくて、給料が減ったり、最悪、職を失ったりして、貧乏人が増える。間違いない。人間はどこまでいっても頭を使って考える仕事で勝負しないと、未来はないんだよ。

AIと言えは、俺さ、今年、初めてスマホを買ったんだよ。もう便利すぎて手放せないよな。何でもパッと教えてくれるんだから。あれは便利だわ、もっと早く使えばよかったよ。

言ってることが矛盾しないかって？細かいことはいいんだよ、頭が弱ってきた年寄りには例外！ (談)